

令和3年度使用中学校教科用図書
調査研究結果報告書

美術



京築教育事務所管内教科用図書調査研究協議会

中 学 校 教 科 書 一 覧

教科書種目	美 術
-------	-----

発行者名	番号	略称	教科書名(シリーズ)
開隆堂出版(株)	9	開隆堂	美術
光村図書出版(株)	38	光 村	美術
日本文教出版(株)	116	日 文	美術

教科書種目	発行者		教科書名(シリーズ)
	番号	略称	
美術	9	開隆堂	美術1 発見と想像 美術2・3 探求と継承

項目		項目毎の調査研究結果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 発達段階に応じて学習に取り組めるとともに、道徳や他教科との関連も題材ごとに示され、生活や社会との関連も学べるようになっている。 ○ 2・3年が1冊にまとめられ、題材選択できるように配慮されている。
	2 内容に関する配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「絵や彫刻など」「デザインや工芸など」「鑑賞」の分野で構成され、各題材で表現と鑑賞を関連させて学習できるようになっている。 ○ 美術で育てる力を「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の三つに分け、学習の目標として示されている。 ○ 全題材で「学習のポイント」として、題材のポイントとなる内容が示され、生徒が主体的に学習を進められるようになっている。 ○ 生徒作品や多彩な作家の作品、表現意図等が豊富に掲載され、美術への見方や考え方を深めることができるように工夫されている。 ○ QRコードで技法の動画によって、安全指導をすることができる。
	3 分量	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3年間の発達段階に応じて1と2・3に分け、系統的に配列されている。 ○ 各題材の軽重をつけながらページ数を変え、年間授業時数、地域や学校の実情に合わせて柔軟に取り組めるようになっている。
	4 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ○ A4ワイド版で、原寸大や部分拡大された作品資料が掲示され、レイアウトも見やすいように整理されている。 ○ 生徒の制作過程の姿も紹介され、生徒が自ら課題を見つけ、自分なりの表し方が工夫できるようになっている。 ○ 「学習のポイント」や対話活動を促す生徒画像、デザイン活動での話し合い活動の掲載などで、話し合い活動が促されている。 ○ 巻末の学びの資料が充実しており、知識・技能の理解を深めることができるように工夫されている。
	5 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 製本も堅牢で、表紙はビニル加工されている。 ○ 色彩や質感を忠実に再現するために発色の良い用紙が使われている。
教科ごとの選定の観点		<ul style="list-style-type: none"> ○ 三つの柱に基づく各題材の目標を理解しながら、生徒が主体的に学習に取り組むことができるようになっている。 ○ [A表現]について、多彩な作品や図版などを掲載し、生徒の関心・意欲が高まるように工夫されている。 ○ [B鑑賞]について、多様な作家作品が掲載され、探求的に学習を進められるようになっている。また、作者の言葉も多数掲載され、言語活動を促進できるようになっている。 ○ [共通事項]は、「学習の目標」の中に示され、全題材で学びが深まるように工夫されている。

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
美術	3 8	光村	美術 1 美術 2・3

項 目		項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 発達段階に合わせて学習を進められるとともに、題材ごとの道徳との関連や、コラムによる他教科との関係も示されている。 ○ 2・3年が1冊にまとめられ、題材選択できるように配慮されている。
	2 内容に関する配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「絵や彫刻など」「デザインや工芸など」の分野で構成し、題材に応じて「表現中心の題材」「鑑賞中心の題材」と明記して表現と鑑賞を関連して学べるようになっている。 ○ 各題材の目標が示され、「発想・構想に関する資質・能力」「技能に関する資質・能力」「鑑賞に関する資質・能力」を身につけられるようになっている。 ○ 発想や構想の手立て、制作過程が掲載され、生徒が主体的に学習できるようになっている。 ○ 多様な作家の作品、生徒の作品や表現意図が掲示され、生徒の学習意欲を喚起できるようにしている。 ○ QRコードから、掲載作品を多角的に見ることができ、解説や音声を聞くことができるようになっている。
	3 分量	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3年間の発達段階に応じて1と2・3に分け、題材数や領域のバランスが工夫されている。 ○ 状況に応じて題材が選択できるよう、題材が設定されている。
	4 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多様な地域や時代の作品が、大きさや紙質、比較作品の掲示なども工夫されて掲載されている。 ○ 多くの生徒作品や制作風景、制作過程が掲載され、自分の主題に合わせて発想・構想できるようになっている。 ○ 「鑑賞」に関する対話活動や、デザインでの話し合い活動も紹介されている。 ○ 巻末の学習を支える資料が充実しており、知識・技能の理解を深めることができるようになっている。
	5 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 製本も堅牢で、開きやすいような綴じ方にしている。 ○ 風合いのある紙の使用やトレーシングペーパーの綴じ込み等で工夫されている。
教科ごとの選定の観点		<ul style="list-style-type: none"> ○ 各題材の目標を理解しながら、生徒が主体的に学習に取り組むことができるようになっている。 ○ [A表現]では、多くの作品や図版、活動例などを掲載し、発想・構想の具体的な流れをつかみ、主題を決定して自主的に活動を進めることができるようになっている。 ○ [B鑑賞]では、多様な作者や生徒作品の図版や写真、詩、作者の言葉が掲載され、「鑑賞の問いかけ」で言語活動を促すようになっている。 ○ [共通事項]については、巻末の資料に掲載され、内容を実感できるようになっている。

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
美術	1 1 6	日文	美術1 美術との出会い 美術2・3上 学びの実感と広がり 美術2・3下 学びの探求と未来

項 目	項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果	
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 発達の段階に応じて学びを深めるとともに、道徳との関連も数多く示され、他教科や生活や社会と美術の関連も学べるようになっている。 ○ 3年間の発達段階に合わせ、3冊に分けられて題材設定されている。
	2 内容に関する配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「絵や彫刻など」「デザインや工芸など」「鑑賞」の分野で構成され、全ての題材で表現と鑑賞を一体的に学習できるようになっている。 ○ 美術で育てる力を「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱に基づく「学びの目標」で示されている。 ○ 全題材で[共通事項]への気付きを促す「造形的な視点」が示され、生徒が主体的に学びを進められるように工夫されている。 ○ 多彩な参考資料や生徒の制作風景も掲示され、生徒の活動への興味・関心を喚起できるようになっている。 ○ QRコードで多数の作品を多角的に見ることができ、技法を学ぶことができるようになっている。
	3 分量	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各題材が系統的に掲載され、3冊に分かれているので、各学年の学習に合わせて適切な量になっている。短時間の題材も紹介されている。 ○ 地域や学校の実態等に応じて選択ができるようになっている。
	4 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ○ A4ワイド版で、原寸大の作品資料や大きな図版、細部まで分かる画像等が、作品の良さや美しさが伝わるように掲載されている。 ○ 生徒や作家の作品だけでなく、制作風景や作者の言葉や発想・構想の資料も掲載され、学ぶ意欲が喚起されるようになっている。 ○ 各題材の説明や対話活動を行う生徒の姿を掲載し、対話を促すようになっている。 ○ 巻末の学習を支える資料に、技法・色彩・鑑賞について多数掲載されている。
	5 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 製本も堅牢で、表紙には耐水コートも施されている。 ○ 作品の材質感や色彩の鮮やかさなどが再現され、紙質も良い。
教科ごとの選定の観点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 三つの柱に基づく目標と造形的な視点を理解しながら生徒が主体的に学習に取り組むことができるようになっている。 ○ [A表現]では、多くの作品や図版、活動例などが掲載され、表現の可能性を広げられるようになっている。 ○ [B鑑賞]では、作家や生徒の作品も効果的に掲載され、作者の言葉や造形的な視点を基に言語活動が充実できるように工夫されている。 ○ [共通事項]は、全ての題材において「造形的な視点」で提示され、生徒が理解しながら活動と知識を結びつけられるようになっている。 	